



獅子島「スマイルアイランド」完成 地域に愛される施設に



2月27日、獅子島の児童らが放課後を大人の見守りの中で過ごす子ども第二の居場所「スマイルアイランド」の調印式が行われました。1月下旬に開所し、児童らは、宿題や遊びを共にしながら交流を深めています。

同施設は、子どもが安心して過ごせる環境づくりや生きる力を育むことなどを目的に、B&G財団などが全国で設置を進めていて、本町も助成を受け建設しました。

調印式では、同財団の菅原悟志理事長（写真左）が「利用する児童に『スマイルアイランド』と素晴らしい名称を付けていただいた。子どもたちのため、地域のために十分に活用してほしい」とあいさつし、川添健町長は「獅子島に理想としていた子どもたちの施設ができた。本当にありがたい」とお礼の言葉を述べました。

施設は、児童28人が利用し、クラブ活動の時間や保護者の迎えが来るまでの間、町社会福祉協議会の職員が児童らを見守ります。

藤田彩華さん（獅子島小4年）は「5時からクラブ活動までの時間は家に帰って宿題などしていたが、きれいな施設で友だちと楽しく過ごせてうれしい」と話しました。



卓球交流会 技術向上をめざして



2月18日、町B&G海洋センター体育館で、町体育協会卓球部による卓球交流会が町内の卓球技術向上を目的に開催されました。この日は、県内の小学生から社会人まで卓球愛好者47人が参加し、6人ごとの8パートに分かれ試合を行い、日頃の練習の成果を競いました。

第8パートで準優勝した濱崎奈央さん（長島中1年）は「小学生のレベルの高さにびっくりした。これからも練習を重ねていい試合ができるように頑張りたい」と意気込みを示しました。

長島ライオンズクラブが寄付 町内で愛される文庫へ



2月27日、長島ライオンズクラブ（町田清浩会長（写真右））から町図書館の蔵書の増刷を目的とした寄付がありました。

同クラブは、社会奉仕活動団体として花壇の手入れや献血活動、学校にはがきを配布する「愛の定期便」長島自然保護絵画コンクール開催などの活動を行っています。

町田会長は、「町内の子どもから大人まで本を手にとって幅広く利用してほしい」と話しました。

寄付は、今年度で設立40周年を迎える同クラブの記念事業の一環です。